

# 上高地 マル集 未来構想

—自然を通じた感動と体験を提供する世界水準の国立公園へ—



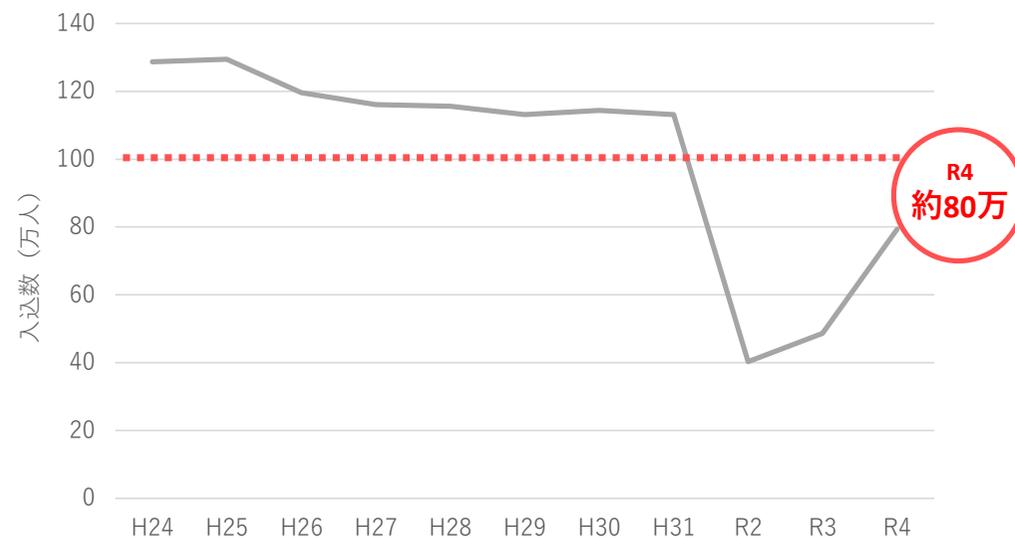
# CONTENTS

目次

-  **01** 上高地について
-  **02** 上高地マル集未来構想でめざすもの
-  **03** 上高地マル集未来構想の要素 利用
-  **04** 上高地マル集未来構想の要素 景観
-  **05** 上高地マル集未来構想の要素 社会

# 概況

- ✓ 山々や河畔林、梓川等の自然資源を有し、**日本有数の山岳リゾート**かつ**槍穂高連峰への登山利用の玄関口**である。
- ✓ 年間**約120万人の入込数をキープ**。コロナ禍を経て、令和4年は**前半コロナ影響はありつつも約80万人まで増加**。



▲観光客入込客数 (H24-R4)

出典：中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム2025

## 歴史からみる上高地の位置づけ

- ✓ 景観、観光、社会の側面において、先進的な取組を行い、国立公園や観光地をリード。
- ✓ 現在でも取組を維持し、社会に影響を与え続けている。

江戸 明治 大正 昭和 平成 令和

景

- ◆ 【大正5年】保護林に指定
  - ◆ 【昭和2年】日本新八景の溪谷の部第1位に選定
  - ◆ 【昭和4年】国の名勝、天然記念物に指定
  - ◆ 【昭和9年】日本で最初の国立公園に指定
  - ◆ 【昭和27年】特別名勝・特別天然記念物に指定
- ⇒山岳景観の保全に資する規制の先駆け

観

利

- ◆ 【昭和8年】上高地帝国ホテル開業（長野県が誘致）
  - ◆ 【大正13年】釜トンネル開発
  - ◆ 【昭和42年】第一回上高地開山祭
  - ◆ 【明治43年】初代河童橋
  - ◆ 【昭和22年】ウェストン碑の復旧式（ウェストン祭）
  - ◆ 【平成28年】第一回「山の日」記念全国大会
- ⇒「上高地」の価値・ブランドを確立

用

◆【江戸期】松本藩有林として営林

社

- ◆ 【明治29年】「日本アルプスの登山と探検」（W.ウェストン）  
⇒槍穂高連峰の登山基地としての上高地

会

- ◆ 【明治17年】上高地牧場
  - ◆ 【昭和38年】上高地を美しくする会発足
  - ◆ 【昭和50年】マイカー規制開始
  - ◆ 【平成24年】上高地ビジョン
- ⇒開拓の歴史と文化の醸成（日本近代登山の聖地など）、環境問題等への先進的な取組

- ✓ 上高地の現状を**自然資源、景観・地質・歴史資源、利用空間、プログラム、防災**のテーマ別に整理。
- ✓ 各テーマにおける「**資源**」と「**発展性**」について整理。

## 資源

## 発展性

- ・ 唯一無二の自然資源、  
上高地らしさや価値を創出

自然資源

- ・ 保護と利用のバランスを維持  
(自然への利用負荷の軽減)

- ・ 多種多様な魅力的な資源  
(景観・地質・歴史)

景観・地質  
歴史資源

- ・ 資源を体感・体験する「場」としての整備

- ・ 利用を増進するための施設整備  
IC：情報収集と休憩の場  
VC：自然への理解を深める場

利用空間

- ・ ニーズに応じた設えや空間づくりの必要性
- ・ ユニバーサルデザイン
- ・ 公園施設の長寿命化

- ・ 魅力的で多種多様なプログラムや  
ガイドツアー、企画・展示

プログラム

- ・ プログラムやガイドツアーの認知向上
- ・ インタープリテーションの確立、人材育成
- ・ IC・VCの施設機能の見直し、整備

- ・ 「景観と防災の調和」を目指した  
河床上昇対策の検討、実施
- ・ 「野生動物と人の共生」を目指した  
野生動物対策の実施

防災

- ・ 気づきと学びの提供  
景観と防災の調和の可能性  
野生動物との共生

### 資源

✓ **唯一無二の自然資源、上高地らしさや価値を創出**

→ 日本を代表する景勝地として、**日本新八景（溪谷の部）、国立公園の特別保護地区、文化財の特別名勝、特別天然記念物**に指定



▲ブルーグリーンの梓川



▲特別名勝としての上高地



▲雄大で美しい穂高連邦

### 発展性

・ 保護と利用のバランスを維持  
(自然への利用負荷の軽減)



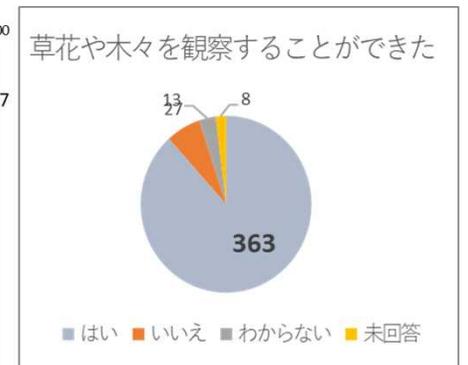
▲SDGsの取組推進



▲野生動物と人の共生

### 利用者の声

・ 多くの利用者が山岳景観や自然アクティビティを目的に来訪



▲利用者アンケート (R4.10.8-10 上高地インフォメーションセンター前で実施)

### 資源

✓ 多種多様な魅力的な資源（景観・地質・歴史）



▲上高地の上水として使われる清水川



▲歴史的資源であるウェストン碑



▲紅葉が美しいカラマツの河畔林

### 発展性

✓ 資源を体感・体験する「場」としての整備



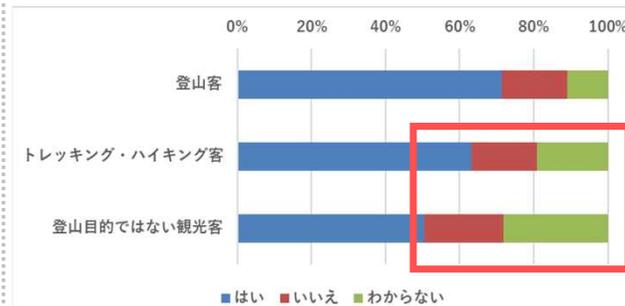
▲樹木が成長して眺望を阻害



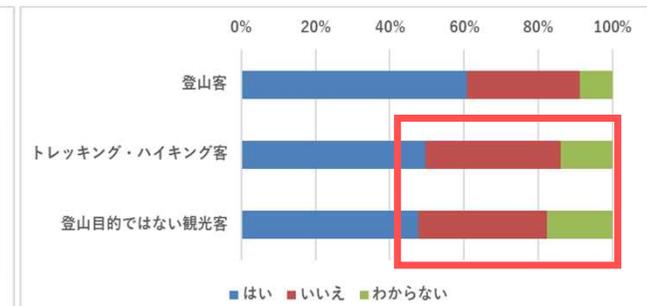
▲空間（園地）の有効活用

### 利用者の声

✓ 登山目的ではない観光客に資源の魅力を十分に伝えきれていない



「英国人宣教師W.ウェストンを知っている」  
（アンケート結果）



「清水川の水が上高地の上水として使われていることを知っている」  
（アンケート結果）

- 資源**
- ✓ 自然を保護しながら、利用を増進するための施設整備  
 I C (インフォメーションセンター) : 情報収集と休憩の場、V C (ビクターセンター) : 自然への理解を深める場



## 発展性

- ✓ ニーズに応じた設えや空間づくり
- ✓ ユニバーサルデザイン
- ✓ 公園施設の長寿命化



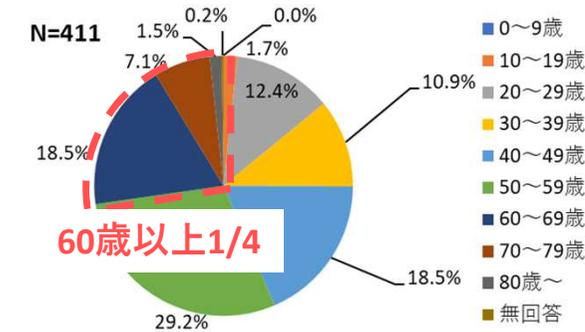
▲歩車動線の重複



▲橋梁、ベンチ等の施設が老朽化

## 利用者の声

- ✓ 高齢者利用者の割合が多い。多様な利用者のニーズ



▲利用者の年齢 (アンケート結果)



▲ヒアリング調査

車椅子利用者は急増しており、ベビーキャリアや授乳室の問い合わせも増えている。

高齢の母と旅行に来ました。明神池や大正池へ行きたかったけど 歩く距離があり断念

### 資源

✓ 魅力的で多種多様なプログラムやガイドツアー、企画・展示



▲ガイドツアーの風景



▲魅力的なガイドツアー



▲VCの展示室の風景



▲VCの展示内容

### 発展性

- ✓ プログラムやガイドツアーの認知向上
- ✓ インタープリテーションの確立、人材育成
- ✓ IC・VCの施設機能の見直し  
(IC：情報発信機能の確立 VC：展示内容の刷新)



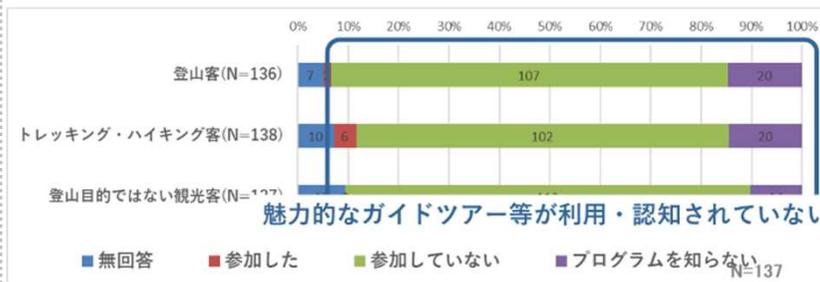
自然公園財団

▲ヒアリング調査

ビジターセンターの展示の内容が  
20年以上変わっていないので、  
展示内容の刷新が必要

### 利用者の声

- ✓ 利用者の多くがガイドツアーを知らない・わからないと回答
- ✓ VCの展示内容（写真）が変わらないことに懸念



写真の展示が何年も何十年も  
変わっていないけどまーいっか



一般利用者（50台女性）

▲自由記述（アンケート結果）

▲上高地のプログラム（ガイドツアー等）への参加  
（アンケート結果）

### 資源

- ✓ 「景観と防災の調和」を旨とした河床上昇対策の検討、実施
- ✓ 「野生動物と人の共生」を旨とした野生動物対策の実施



▲梓川の氾濫の様子  
(上高地内の歩道に越水する梓川)



▲大正池での浚渫  
(土砂堆積により複数課題が発生)



▲ツキノワグマ  
(人と野生動物の適切な距離感が重要)



▲野生動物対策  
(エアガンでのサル追い払い)

### 発展性

- ✓ 気づきと学びの提供  
景観と防災の調和の可能性  
野生動物との共生



▲フードロッカー設置 (クマ対策)



▲普及啓発資料 (カラス注意)

### 利用者の声

- ✓ 河床上昇問題以外にも沢水等による被害や流木等の問題がある
- ✓ エリア全体かつトータル的な治水対策が必要



上高地消防隊

▲ヒアリング調査

- 流木により田代橋・穂高橋、河童橋で水流が堰き止められる懸念がある。
- 豪雨時には沢や山からの水により、BTや施設で洪水や土砂被害があった。

# 関係する計画や取組

# 02 上高地マル集未来構想でめざすもの

- ✓ 上高地ビジョン2014の行動計画に基づき取組や検討を実施。
- ✓ これら理念を踏まえたものとして「上高地マル集未来構想」を策定。

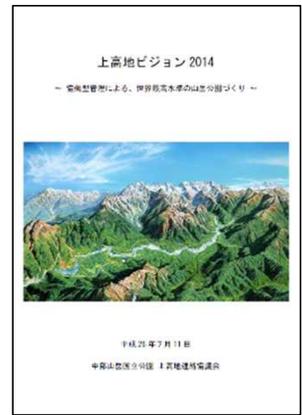
## ■上高地ビジョン2014

### 基本的視点

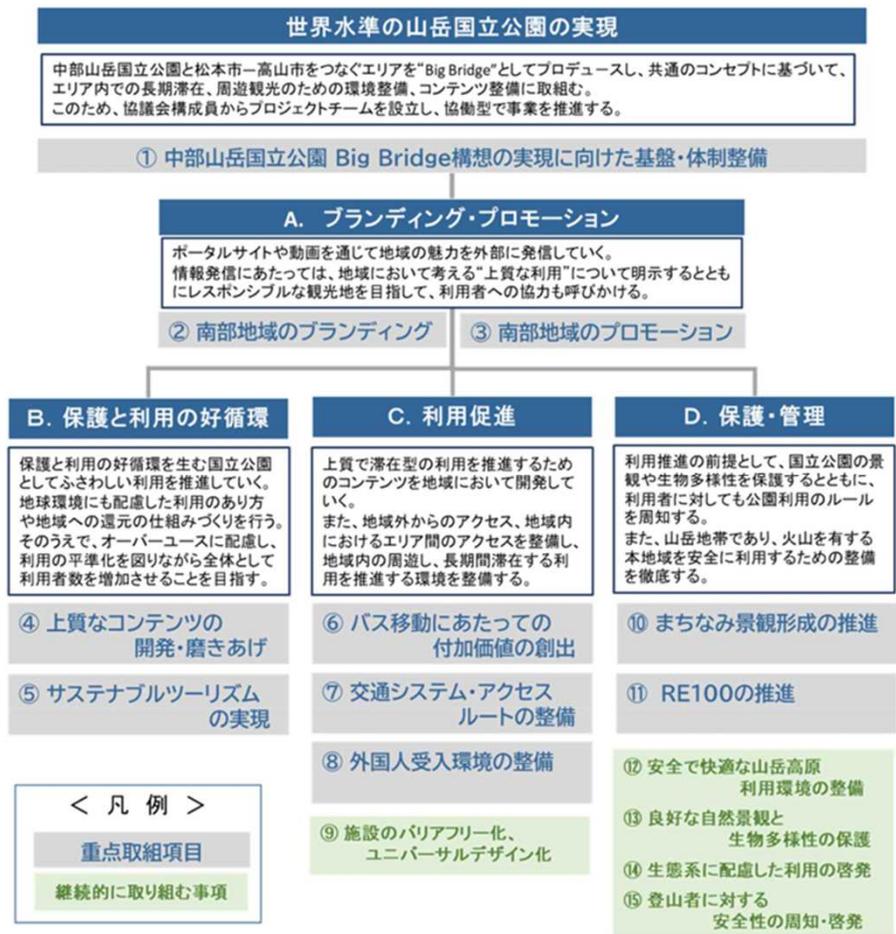
- (1) 世界に誇る山岳公園としての価値の継承**
  - ・ 傑出した自然景観の保全
  - ・ 豊かな生物多様性の保全
- (2) 品格ある、災害に強い山岳公園づくり**
  - ・ 多様な利用者の受入環境の整備
  - ・ 上高地体験型の利用サービスの提供
  - ・ 災害に強いしなやかな山岳公園づくり
- (3) 地域が一丸となった協働型の管理体制の構築**
  - ・ 地域のすべての主体が担い手となった協働管理
  - ・ 地域に根差した取組と広域連携

### 基本方針

- ① 上高地の景観と防災の調和
- ② 上高地の生物多様性の保全
- ③ 北アルプス南部の適正な登山利用
- ④ 上高地の適正な観光利用
- ⑤ 国立公園モデルの山岳観光地づくり



## ■中部山岳国立公園南部地域利用促進プログラム2025



### 上高地マル集未来構想策定の目的

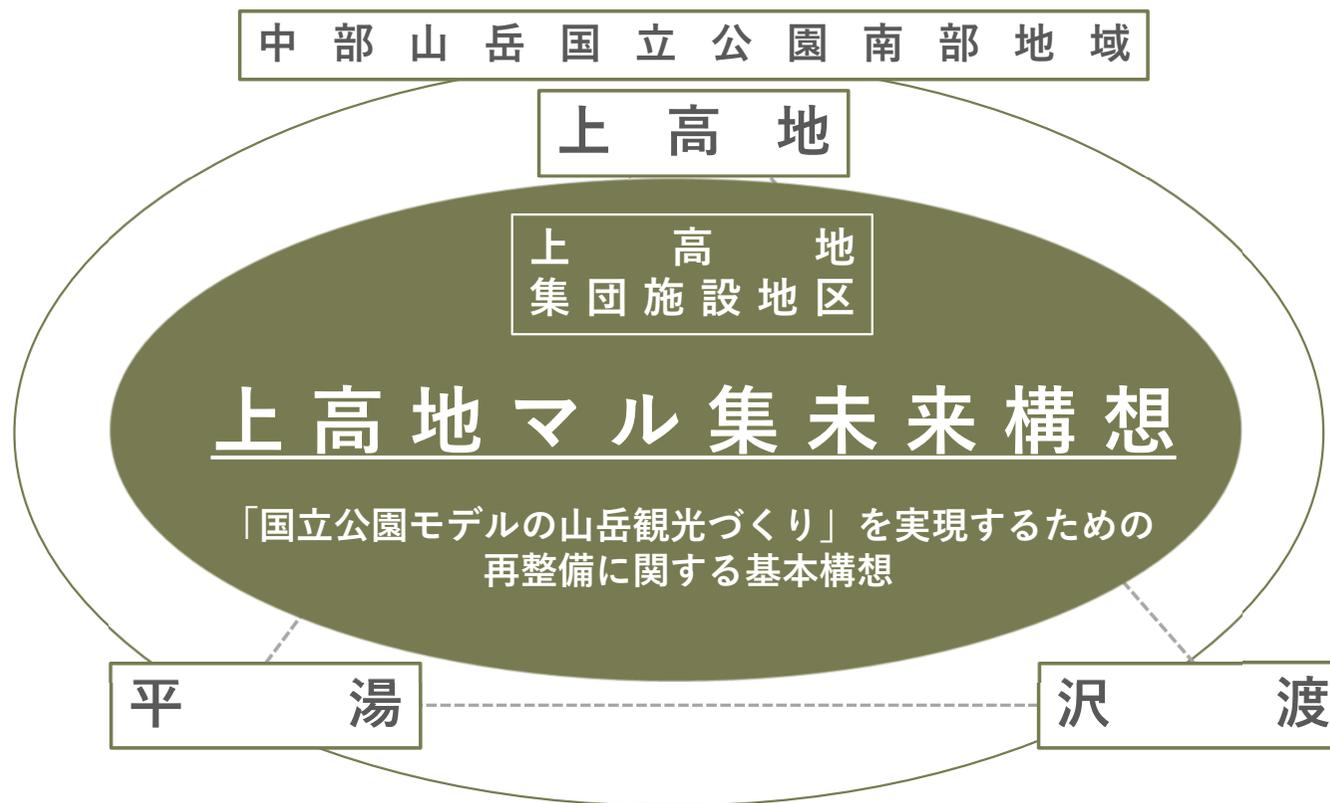
日本を代表する景勝地としての矜持と責任やこれまでの先進的な取組、をふまえ、利用拠点である集団施設地区について環境省として今後（概ね10年間）のあり方を示し、世界中の人が憧れる国立公園の利用拠点をめざすもの



# 上高地マル集未来構想の位置づけ

## 02 上高地マル集未来構想でめざすもの

- ✓ 上高地における **上高地集団施設地区**が検討対象。
- ✓ 中部山岳国立公園南部地域利用促進プログラム2025、上高地ビジョン等の関係計画を踏まえ、「**国立公園モデルの山岳観光づくり**」を実現するための利用環境の再整備に関する基本構想。



※「マル集」とは、自然公園法第36条に基づき指定される集団施設地区（国立・国定公園の利用拠点に宿舎、野営場、園地などを総合的に整備する地区として、公園計画に基づき環境大臣が指定する地区）の略語。公園計画図において、円でその位置が示されることから、その呼び名が付いたとされる。上高地集団施設地区の指定地は環境省所管地と一致。

# 来訪者に伝えたい利用体験ストーリー

## 02 上高地マル集未来構想でめざすもの

### 利用体験ストーリー 1：観光を目的に上高地へ来園された 20 代女性 2 人組

#### 来園前の公園利用者

- ・観光や山岳景観を目的に、上高地を来園
- ・上高地の来園は初めて、日帰りでの滞在を予定
- ・環境問題への関心はまだ少ない

1 日目

#### 上高地 BT・IC エリア

「上高地に来た」という高揚感が湧き立つ

利用体験イメージ 2-1 2-2 2-3 2-9 3-3

- ・上高地を象徴とするシンボリックなサインで記念撮影する
- ・上高地のレギュレーションやルール（上高地 5 つのルール等）を学ぶ
- ・デジタルサイネージ等での上高地の観光情報の収集

#### 河童橋周辺エリア

初めての上高地の山岳景観に感動する  
ガイドツアープログラムに興味をもつ

利用体験イメージ 1-7 1-8 1-15

- ・河童橋、穂高連峰、焼岳等の景観を堪能
- ・カフェやベンチで食事を満喫
- ・河童橋のもとで行われているガイドツアープログラムに興味を持つ
- ・記録の入ったベンチで休憩する



#### 河童橋での利用体験イメージ

女性客 2 人組はベンチで昼食をとりながら、河童橋を眺めている。そこに、河童橋の歴史や上高地の景観を話すガイドツアーが実施され、女性客はガイドツアーの話に興味をもつ

#### 小梨平・VC エリア

上高地の自然や成立ちに興味をもつ  
魅力的な展示から自然の魅力への気づきを得る

利用体験イメージ 1-2 1-3 1-16 2-7 3-3

- ・ VC、小梨平、清水川での展示を体験
- ・ VR や AR を活用した魅力的な展示や企画展等を楽しみ、景観や観光以外の魅力に気づく

#### ウェストンエリア

落ち着いた空間で癒され、くつろぐ  
魅力的な山岳景観や紅葉を眺める

利用体験イメージ 1-2 1-3 1-7 1-8

- ・カフェ等でくつろぎながら、上高地関連の書籍や雑誌を読み、山岳景観や紅葉を眺める

#### 散策エリア（ウェストン～中ノ瀬園地）

美しい自然と歩きやすい園路を散策する  
山岳景観や自然観察をする

利用体験イメージ 1-8 1-5 1-14 3-2 3-4 3-5

- ・魅力的な資源（景観、地質、歴史、自然）のサインを見ながら、上高地の成立ちや景観を学びながら楽しむ
- ・歩きやすい園路の散策、休憩施設で一休み
- ・野生動物との共生のための取組（警鐘）を知る

#### 上高地 BT・IC エリア

上高地での体験を思い返す  
上高地への再来園の気持ちが湧き立つ

利用体験イメージ 1-4 1-8 2-1 2-2 2-3 2-9

- ・上高地での体験や出来事を語らう
- ・居心地の良い空間で帰りのバスを待つ
- ・上高地限定のお土産を買う

帰宅

#### 来園後の公園利用者

- ・観光以外の上高地の魅力にも気づく（自然、歴史、景観と防災のバランス、等）
- ・次回は上高地に 1 泊 2 日の滞在を予定。ガイドツアープログラムへの参加したい
- ・環境問題への関心がわく

◎利用体験イメージの通し番号（1-1等）は上高地マル集未来構想アイデア一覧の通し番号と対応

BT：上高地バスターミナル  
IC：上高地インフォメーションセンター  
VC：上高地ビジターセンター

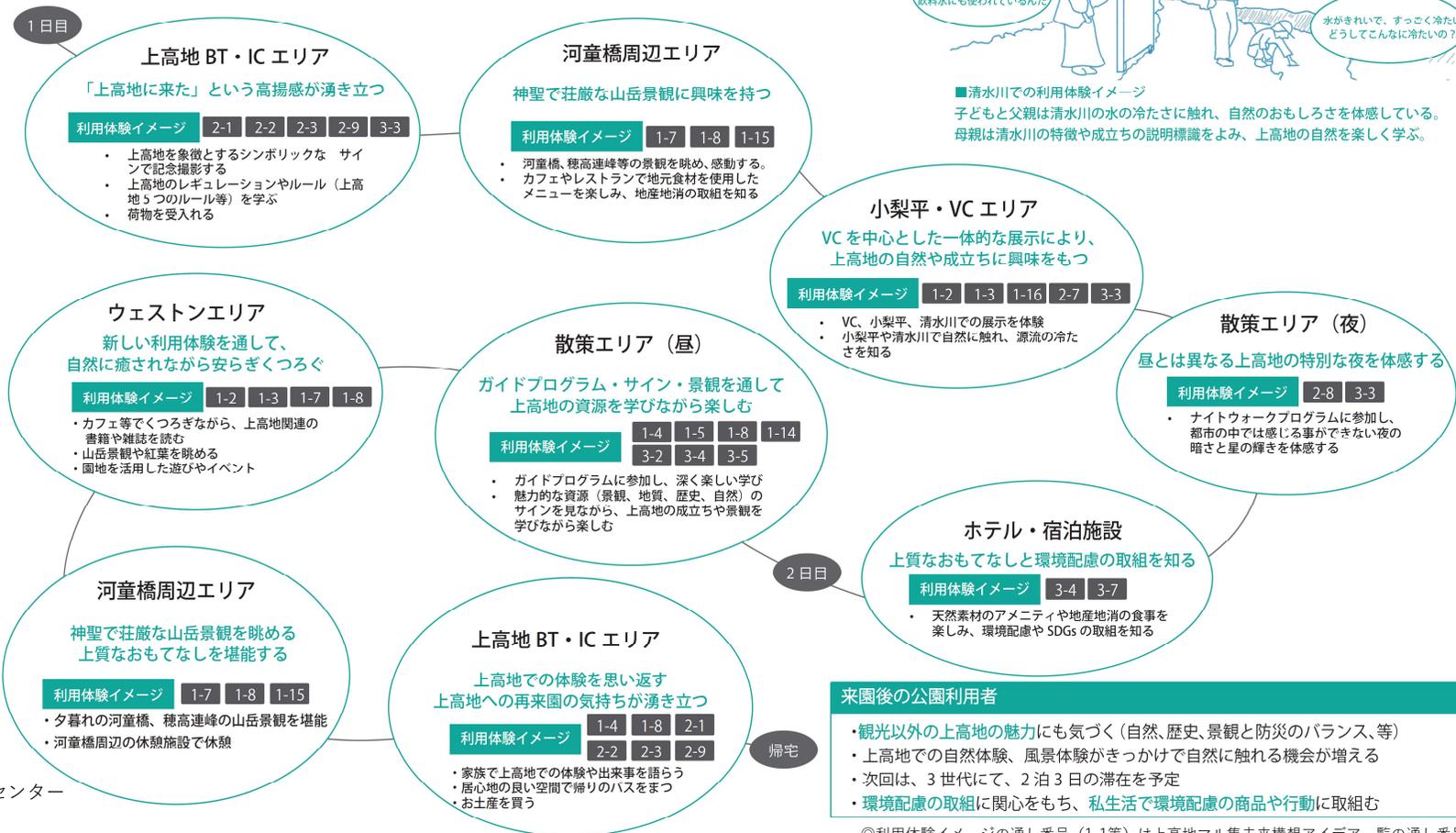
### 利用体験ストーリー 2：観光を目的に上高地へ来園された家族

**来園前の公園利用者**

- ・ 観光や山岳景観を目的に、上高地を来園
- ・ 上高地の来園は初めて、1泊2日での滞在を予定
- ・ 環境問題への関心はあるが、具体的な取組は行えていない



■清水川での利用体験イメージ  
子どもと父親は清水川の水の冷たさに触れ、自然のおもしろさを体感している。母親は清水川の特徴や成立ちの説明標識をよみ、上高地の自然を楽しく学ぶ。



BT：上高地バスターミナル  
IC：上高地インフォメーションセンター  
VC：上高地ビジターセンター

◎利用体験イメージの通し番号（1-1等）は上高地マル集未来構想アイデア一覧の通し番号と対応

### 利用体験ストーリー 3：トレッキング・ハイキングを目的に上高地へ来園された 50 代夫婦

**来園前の公園利用者**

- ・トレッキング・ハイキングと山岳景観を目的に上高地へ来園
- ・以前の上高地への来園は複数回。今回は 2 拍 3 日の滞在を予定
- ・環境問題や自然保護問題への関心があり、実際の行動に移したいと感じている。



■ガイドツアーでの利用体験イメージ  
50 代夫婦は上高地のガイドツアープログラムに参加。ガイド中に、人馴れしたサルの追払いの現場に立ち会い、人と自然の距離の重要性を体感する。



BT：上高地バスターミナル  
IC：上高地インフォメーションセンター  
VC：上高地ビジターセンター

# 上高地マル集未来構想

—自然を通じた感動と体験を提供する世界水準の国立公園へ—

神聖なる山岳景観へ  
五感で感じる上質な体験

山岳・水系を中心とした  
風土の保全と場の上質化により、  
魅力的な資源と最高の景観を創出する

景観 空間保全利用計画

最高水準の国立公園利用  
感動と学びの提供

インタプリテーション環境の整備により、  
上高地全体でのおもてなしや、  
国立公園だから伝えられる深い体験を提供する

利用 インタプリテーション計画

上高地から日本・世界へ  
社会に向けたメッセージ

多様化・複雑化する社会問題に対し、  
社会ニーズに応え、モデルを示し続ける  
国立公園として先頭を走っていく

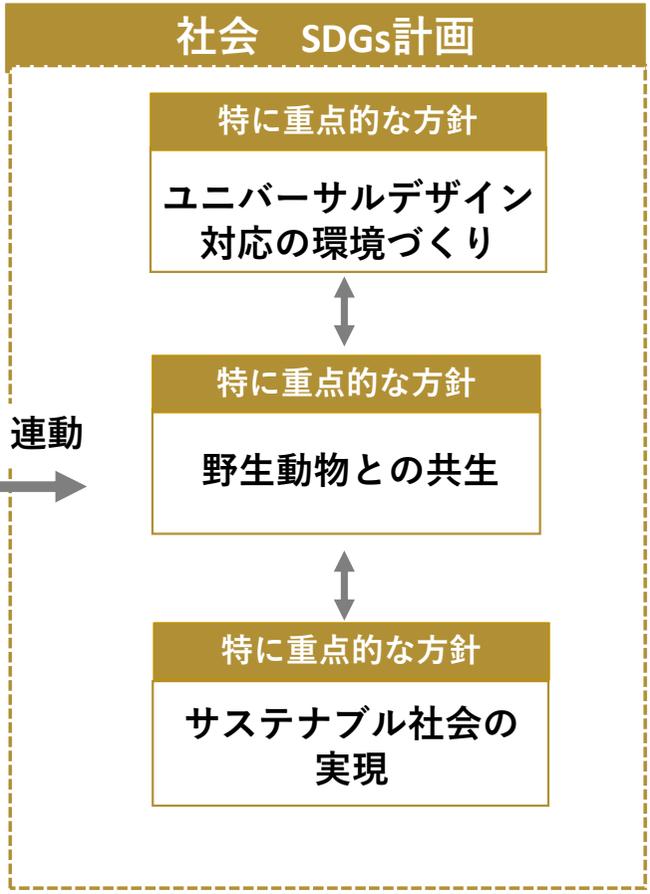
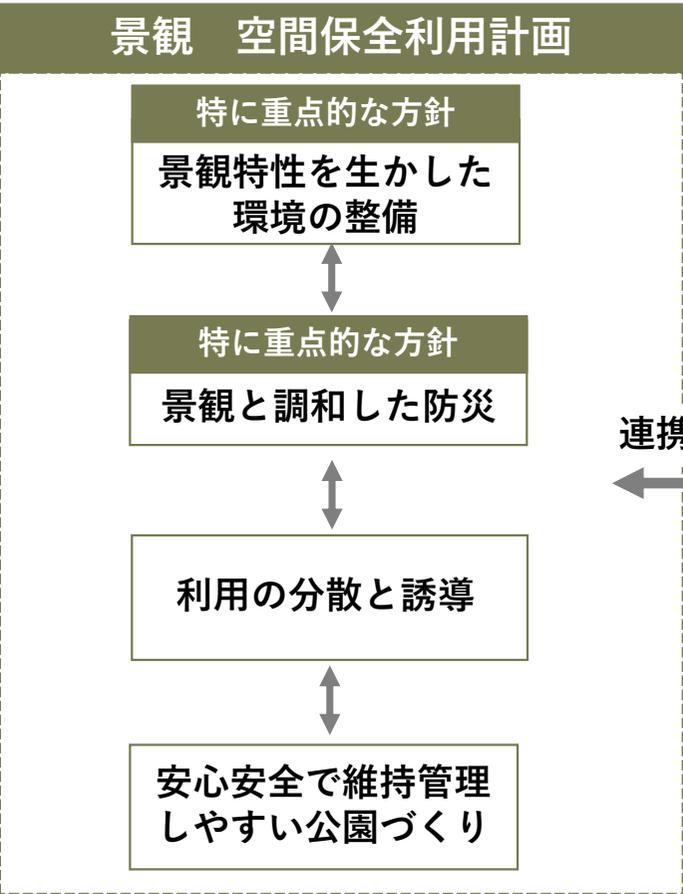
社会 SDGs計画

- ✓ 計画ごとに複数のアイデアを検討し、目指す取組みとして整理。
- ✓ 3つの計画を相互に連携・連動させ、上高地マル集未来構想で掲げた目標を実現する。

神聖なる山岳景観へ  
五感で感じる上質な体験

最高水準の観光へ  
多様な価値と感動、学びの提供

上高地から日本・世界へ  
社会に向けたメッセージ



連携・連動

連携・連動

### アイデア1 IP（インタープリテーション）計画の構築

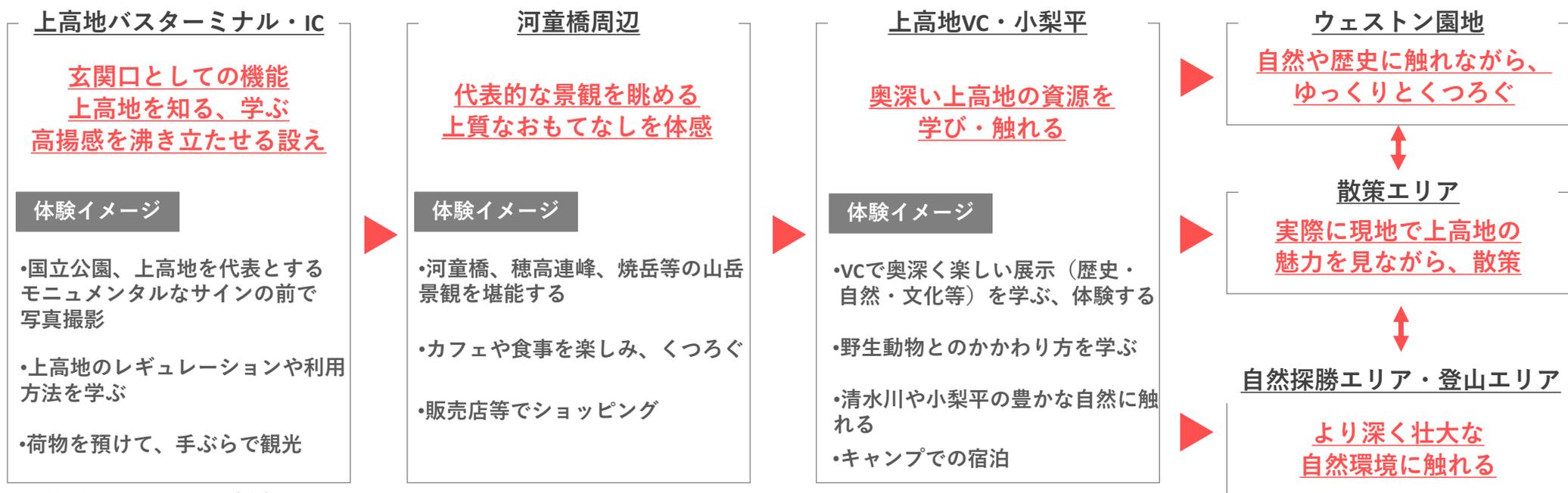
優先項目

#### ◎ 上高地の多様な資源を体験できるストーリーの構築

実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省、自然公園財団、民間事業者  
事業期間：短期（～5年）

#### ◎ インタープリテーション計画に沿ったサービスの質の高い人材育成

実施検討箇所：－  
主体（想定）：環境省、自然公園財団、民間事業者  
事業期間：中期（6～10年）



▲体験ストーリー（案）

### アイデア2 All National Park Staffに向けた情報共有

#### 優先項目

#### ◎組織の壁を超える人材育成、地域間の情報共有、コミュニティの整備

実施検討箇所：－

主体（想定）：環境省、自然公園財団、民間事業者、ガイド

事業期間：短期（～5年）



▲上高地連絡協議会



▲地域コミュニティを醸成する上高地美しくする会



▲北アルプストレイルプログラム等の多様な主体が参加するプログラム

### アイデア1 「上高地」を感じることができる結界感を生む設え

#### ◎ モニュメント・標識・素材等の全体的な統一感の創出

実施検討箇所：上高地全体、釜トンネル、各バスターミナル  
 主体（想定）：環境省、民間事業者  
 事業期間：中期（6～10年）



▲統一性のあるエントランス空間  
（沢渡バスターミナル）



▲主動線がわかりやすい舗装やサイン  
（the farm）



▲モニュメンタルなサイン  
（十和田八幡平国立公園）

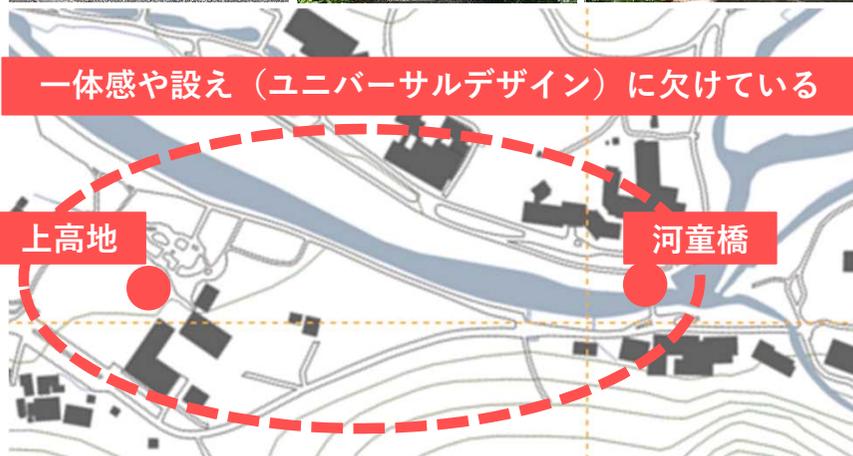


▲結界感のあるエントランス空間  
（新宿御苑）

### アイデア2 エントランス空間の再編

#### ◎ バスターミナル⇄河童橋にかけてのトータルデザイン

実施検討箇所：上高地バスターミナル、河童橋周辺  
 主体（想定）：環境省  
 事業期間：中期（6～10年）



▲一体感や設え（ユニバーサルデザイン）に欠けている

上高地

河童橋

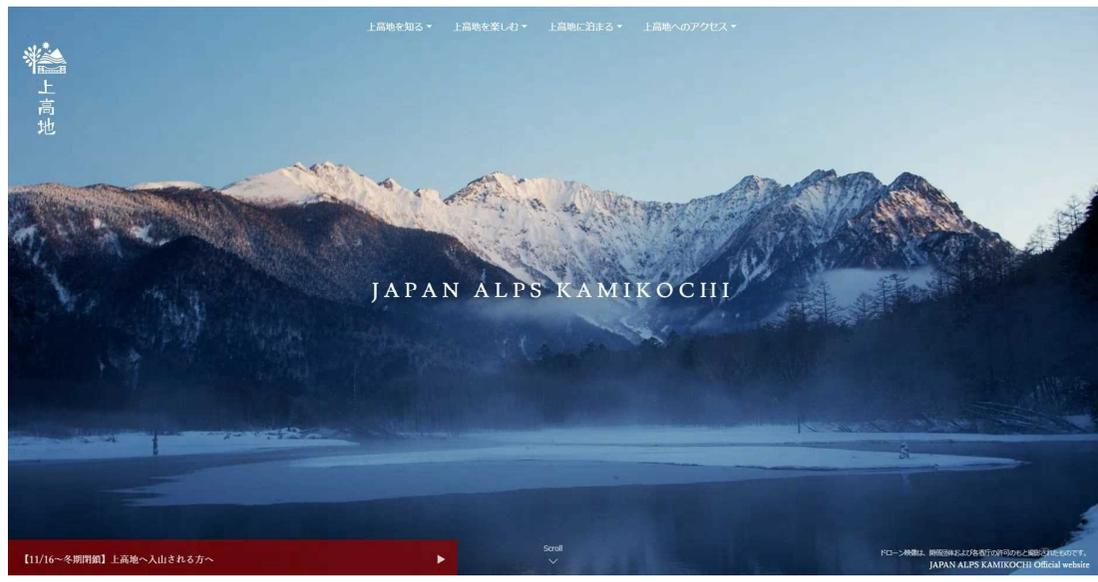
▲一体感や設え（ユニバーサルデザイン）に欠けている

### アイデア3

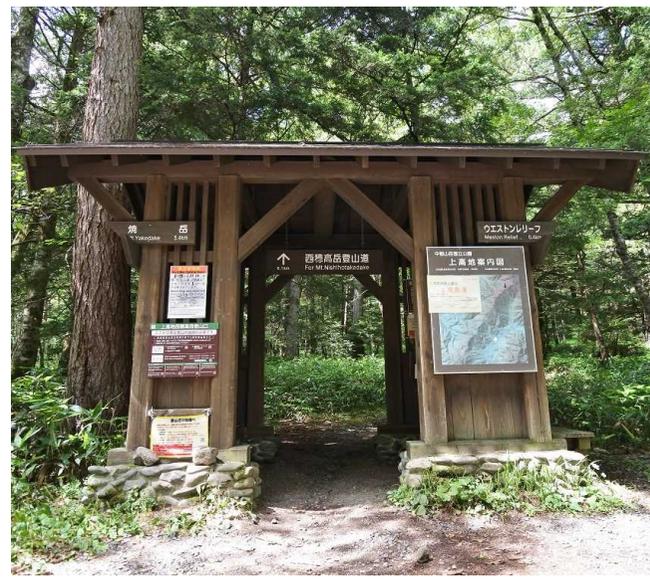
### 国立公園（上高地）のレギュレーション等を伝える設え（利用者の心構え）

#### ◎ 適正な公園利用を推進するため、利用者への情報発信、普及啓発を実施

実施検討箇所：各バスターミナル、HP等、バス・タクシー車内  
 主体（想定）：環境省、交通事業者、上高地観光旅館組合  
 事業期間：継続



▲上高地公式HP (© 上高地観光旅館組合 All Rights Reserved.)



▲西穂高登山口ゲート



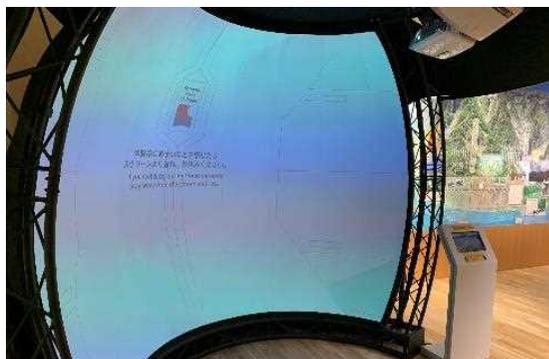
▲上高地5つのルール+2

### 優先項目

#### アイデア1 VC展示内容の再構築

- ◎ サステナブルな展示構成
- ◎ フレキシブルかつ魅力的で集客性のある展示

実施検討箇所：上高地VC  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）



▲ VRによる自然体験  
（上信越高原国立公園）



▲ 模型とARの複合展示  
（大雪山国立公園）

### 優先項目

#### アイデア2 多種多様で自然と利用者をつなぐプログラム

- ◎ 利用者に上高地での取組を体験してもらうプロジェクト
- ◎ 上高地での生活や就業体験をするプログラム

実施検討箇所：—  
主体（想定）：環境省、自然公園財団  
事業期間：短期（～5年）



▲ 上高地の水質調査  
（自然環境カレッジ）  
（出典：信州環境カレッジ）



▲ 上高地の環境整備（外来種駆除）  
（上高地パークボランティア）  
（出典：自然公園財団 上高地支部）

### 優先項目

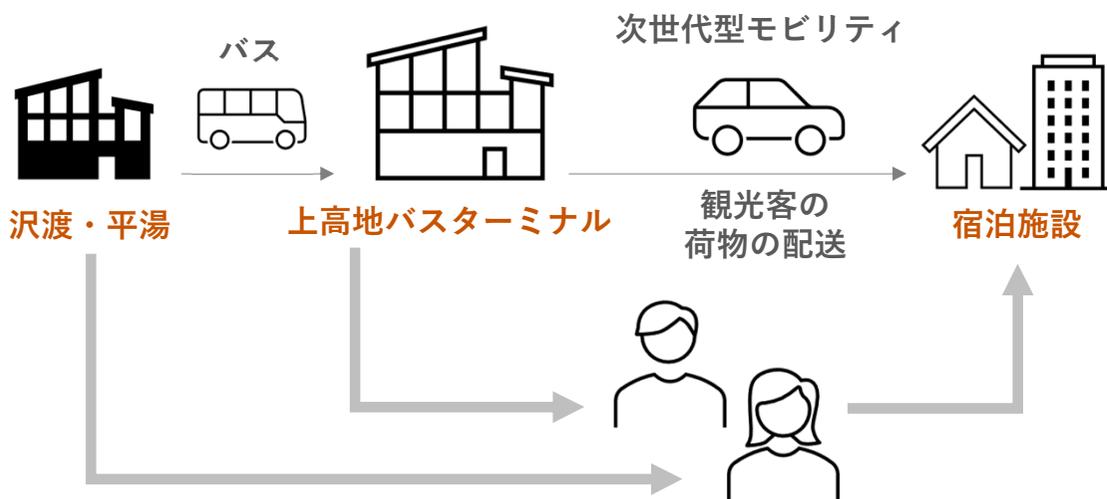
#### アイデア1 宿泊施設への配送サービス

- ◎ 宿泊利用者が手ぶらで観光できるサービスの提供
- ◎ 関係事業者の連携（交通事業者、宿泊事業者）

実施検討箇所：上高地全体

主体（想定）：環境省（検討）、上高地観光旅館組合（実施）

事業期間：短期（～5年）



手ぶらで上高地の観光が可能

#### アイデア2 上高地リピーター認定事業

- ◎ 上高地に訪れた人を認定して、地域全体で迎え入れるリピーターウェルカムな観光地へ
- ◎ ロイヤリティの高い「上高地ファン」の醸成

実施検討箇所：－

主体（想定）：環境省、松本市、上高地観光旅館組合、自然公園財団、交通事業者

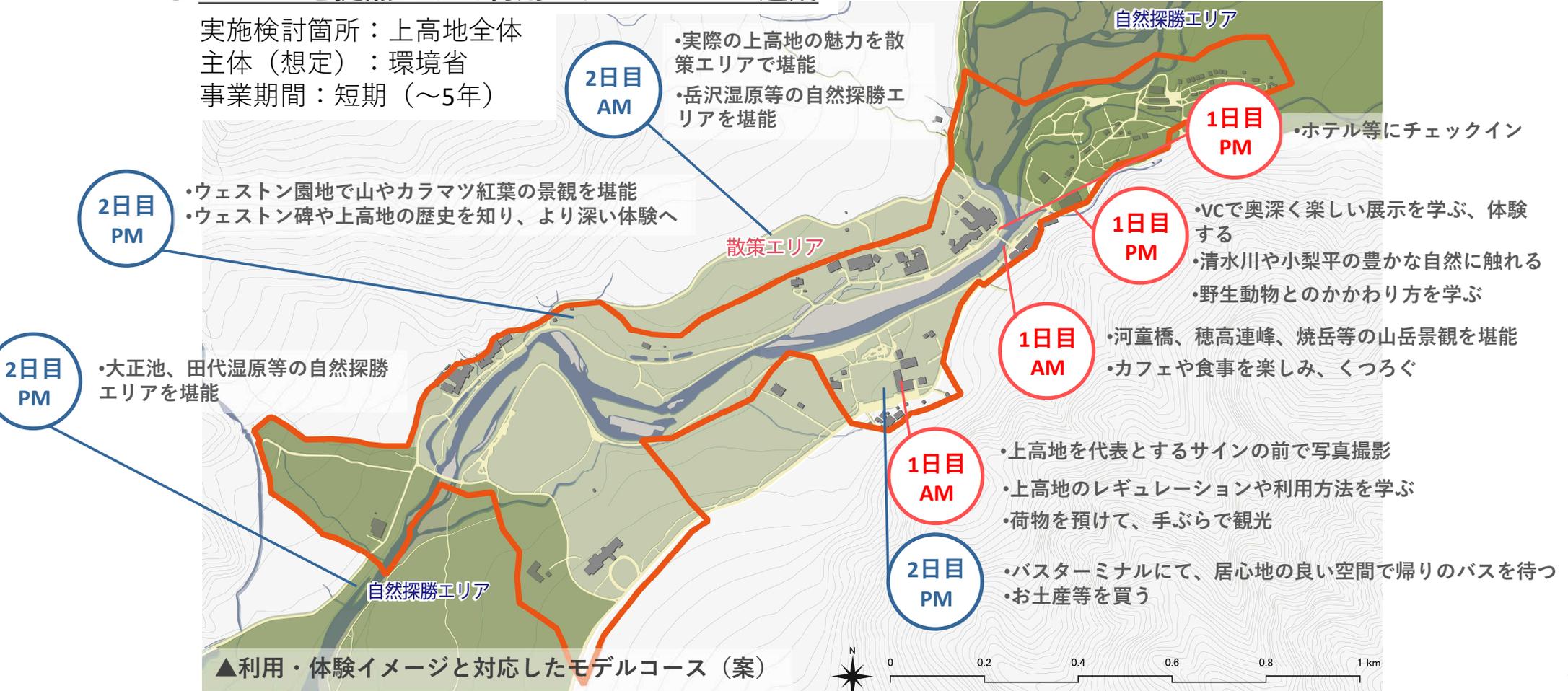
事業期間：中期（6～10年）

優先項目

アイデア1 インタープリテーション計画に沿った魅力的な滞留空間の創出

◎ IC・VCを拠点とした利用モデルコースの造成

実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）



### アイデア2 既存施設、資源の利活用

#### 優先項目

#### ◎ 民間活力導入による施設の利活用

実施検討箇所：ウェストン園地、VC周辺  
主体（想定）：環境省、民間事業者  
事業期間：短期（～5年）



▲カフェ等の集客施設の誘致（阿寒摩周国立公園）

#### 優先項目

#### ◎ 周辺環境との一体的な整備

実施検討箇所：ウェストン園地、VC周辺  
主体（想定）：環境省、民間事業者  
事業期間：短期（～5年）



▲美術館・作品と自然観察が一体的な遊歩道（ポーラ美術館・富士箱根伊豆国立公園）

#### ◎ 雨天時に利用しやすい施設整備

実施検討箇所：上高地バスターミナル、  
上高地IC、上高地VC  
主体（想定）：環境省  
事業期間：中期（6～10年）



▲バスターミナル周辺の雨天時の利用状況

### 優先項目

### アイデア3 上高地ゾーニング・利用動線を周知するためのサイン計画やユニバーサルデザインの徹底

- ◎ ゾーニングエリアをカラー等で示す案内標識
- ◎ ピクトグラム活用や障害者の利用に配慮したユニバーサルデザインの徹底

実施検討箇所：上高地全体  
 主体（想定）：環境省  
 事業期間：短期（～5年）



▲エリアカラーを示す案内標識（ジブリパーク）



▲上高地ビジョンで示したゾーニング



▲ピクトグラムの活用（新宿御苑）

### 優先項目

#### アイデア4 登山利用者が利用しやすい山岳ベースの創出

##### ◎ 山岳用品の販売店、レンタル店の誘致

実施検討箇所：河童橋周辺、小梨平野営場、上高地IC  
主体（想定）：環境省、松本市、民間事業者  
事業期間：短期（～5年）



▲山岳用品店・カフェの誘致①  
(Columbia Field Store 大雪山国立公園)



▲山岳用品店・カフェの誘致②  
(Columbia Field Store 大雪山国立公園)



▲山岳用品店・カフェ・VC一体的な施設  
(THE NORTH FACE 妙高・妙高高原VC  
妙高戸隠連山国立公園)

### アイデア1 魅力的な資源を堪能できる「場」の整備

#### ◎ 景観を楽しむ空間の整備

実施検討箇所：梓川沿いの園路、河童橋周辺  
主体（想定）：環境省、民間事業者  
事業期間：継続



▲多様な滞留を生むベンチデザイン  
(新宿御苑)



▲歩行動線と滞留空間のすみ分け  
(尾瀬国立公園)

#### \\ 優先項目 //

#### ◎ 視点場、修景伐採等の景観デザイン

実施検討箇所：上高地全体、ウェストン園地  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）

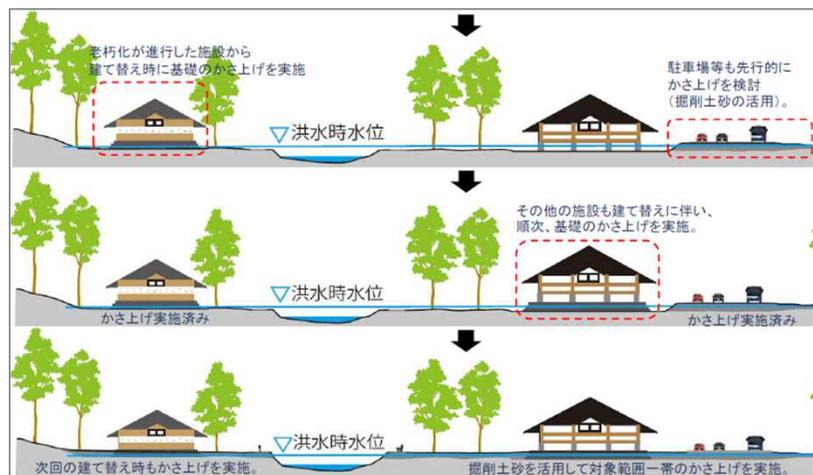


▲景観を意識した視線の確保と視点場のデザイン（富士山ビューポイント）

### アイデア1 河床上昇対策の継続と追加対策の検討

#### ◎ 建替え時のかさ上げ

実施検討箇所：各施設、施設集中地区  
 主体（想定）：環境省、松本市、民間事業者  
 事業期間：継続



▲建築物・地盤一体のかさ上げ

#### ◎ ソフト対策（避難対策の確認等）

実施検討箇所：上高地全体  
 主体（想定）：松本市、上高地消防団  
 事業期間：継続

#### ◎ 土砂流下促進・掘削（浚渫）

実施検討箇所：梓川  
 主体（想定）：長野県  
 事業期間：継続



▲大正池の浚渫

#### ◎ 施設整備（護岸整備）

実施検討箇所：梓川  
 主体（想定）：環境省  
 事業期間：継続



▲多自然川づくり配慮の蛇籠工法による護岸整備

#### ◎ 追加対策の検討

実施検討箇所：上高地全体  
 主体（想定）：環境省、長野県など  
 事業期間：長期（10年～）

### 優先項目

#### アイデア1 公園施設の長寿命化や安全対策

- ◎ 木道や園路での腐敗しやすい部分への人工素材の使用推進
- ◎ 危険箇所の把握と転落防止等の対策
- ◎ 計画的な維持管理

実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）



▲基礎部周辺の人工素材活用による長寿命化対策

#### アイデア2 民間事業者と連携した施設づくり

- ◎ ベンチやデッキ等の整備における民間企業や公園利用者の寄付や投資による参画

実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省、民間事業者、公園利用者  
事業期間：中期（6～10年）



▲民間事業者の寄付のベンチ・滞留空間（尾瀬国立公園）

- ◎ VC・ICのリノベーションによる施設機能の強化

（デザイン公募、民間デザイナーとの連携など）

実施検討箇所：上高地IC・上高地VC  
主体（想定）：環境省、民間事業者  
事業期間：中期（6～10年）



▲アーティスト イン レジデンス（信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業<sup>31</sup>）

### アイデア1 バリアフリールートの設定と整備

優先項目

#### ◎ バリアフリールートの設定と利用者への周知 (情報の見える化)

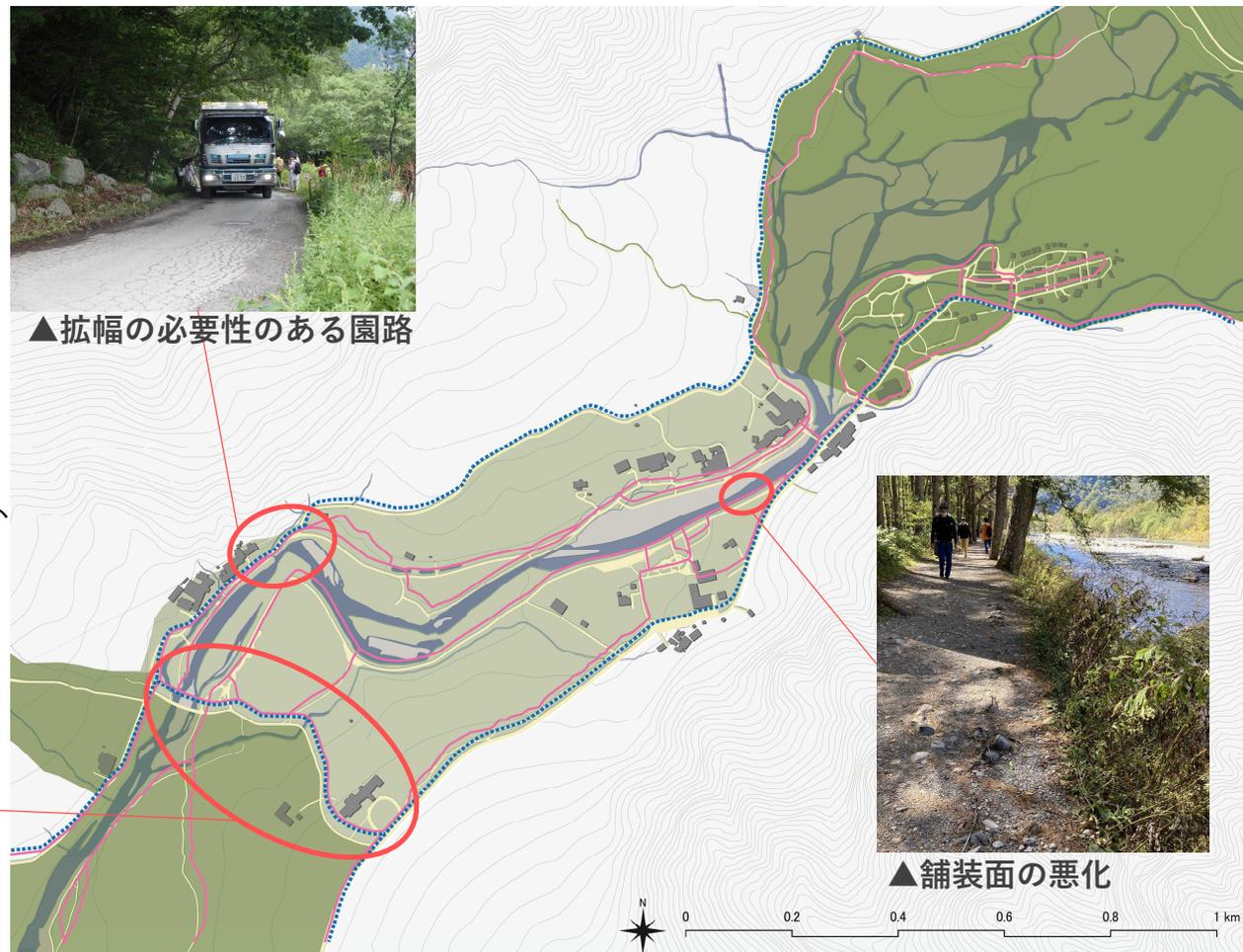
実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）

#### ◎ 歩行しやすい舗装整備と歩車分離

実施検討箇所：上高地バスターミナルー河童橋周辺、  
上高地バスターミナルーウェストン園地  
主体（想定）：環境省  
事業期間：継続



▲拡幅の必要性のある園路



▲舗装面の悪化



▲拡幅の必要性のある園路

▲現況の上高地の園路状況

### 優先項目

#### アイデア2 セルフガイド機能の創出、多言語対応の徹底

- ◎ 利用者自身が自由に必要な情報を収集し楽しめる機会を創出
- ◎ 分かりやすさやアクセスのしやすさを考慮した多言語対応

実施検討箇所：上高地地区全体  
主体（想定）：環境省  
事業期間：短期（～5年）



▲デジタルサイネージ（新宿御苑）

#### アイデア3 トイレや乳幼児設備の充実化

- ◎ IC/VCでの授乳室等の設置
- ◎ マイノリティや障害者も利用しやすいトイレ整備（洋式化）

実施検討箇所：上高地全体  
主体（想定）：環境省、松本市、上高地観光旅館組合  
事業期間：継続



▲授乳室（国営昭和記念公園）

### 優先項目

#### アイデア1 持続可能な環境整備

- ◎ 集団施設地区内のエリア設定
- ◎ エリアごとにメリハリをつけた環境整備  
(園路脇の草刈や警鐘設置)

実施検討箇所：上高地全体

主体（想定）：環境省、自然公園財団

事業期間：短期（～5年）



▲草刈が実施された小梨平キャンプ場



▲警鐘（尾瀬国立公園）

#### アイデア2 野生動物とのかかわり方の学びと気づきの機会

- ◎ 上高地だからこそ可能な動物との向き合い方について、体験プログラムを通して利用者に「学び」と「気づき」を提供

実施検討箇所：上高地VCなど

主体（想定）：環境省、自然公園財団、ガイド事業者

事業期間：継続



▲サル追い払いの様子

(出典：自然公園財団 上高地支部)



▲VCでのクマレクチャー

アイデア1 環境配慮への取組の強化と可視化

- ◎ 脱炭素化の取組強化や可視化、情報発信
- ◎ 環境配慮のアメニティの利活用

実施検討箇所：－

主体（想定）：環境省、民間事業者

事業期間：継続

アイデア2 上高地だから目指すべきCAR-LESS Resortの推進

- ◎ 地域関係車両の総量規制・時間規制
- ◎ 地域関係者の移動手段に係る体制構築（沢渡・平湯⇔上高地）
- ◎ バスやタクシー、管理車両等の電気自動車化
- ◎ 次世代モビリティの導入検討（実証実験の実施）

実施検討箇所：上高地全体（帝国ホテル-ウェストン園地、バスターミナル-河童橋、ウェストン園地）

主体（想定）：環境省、交通事業者、民間事業者

事業期間：中期（6～10年）

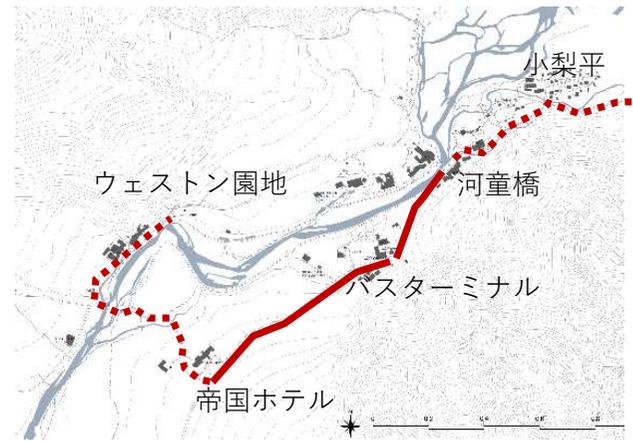


▲上高地IC前の給水箇所



▲木製のアメニティ（環境配慮）

（出典：上高地帝国ホテル）



▲モビリティ走行ルート（案）



▲次世代モビリティ導入例（奥入瀬渓谷）

（出典：NPO奥入瀬自然観光資源研究会） 35

### 優先項目

#### アイデア3 生活インフラの適正化と持続化

- ◎ 上高地浄化センター機器の更新の推進
- ◎ 山小屋等のし尿処理方法改善の検討
- ◎ ゴミ集積施設・機能の集約化と適正化

実施検討箇所：上高地浄化センター、上高地BT周辺  
主体（想定）：松本市、環境省、施設管理者  
事業期間：中期（6～10年）



▲上高地浄化センター

### 優先項目

#### アイデア4 共生に向けた地域・体制づくり

- ◎ 行政機関や地域関係者、利用者も含めた連携の強化
- ◎ 入園料、入山料の徴収による充実した維持管理体制の構築
- ◎ 地域受入れ環境の充実

実施検討箇所：—  
主体（想定）：環境省、松本市、利用者を含めた関係者全て  
事業期間：継続



▲上高地美しくする会



▲北アルプストレイルプログラム

# 上高地マル集未来構想 アイデア一覧

	上高地マル集未来構想における提案内容	実施検討箇所（案）	主体（想定）	事業期間	優先度	具体的な内容	通し番号
利用 イ ン タ ー プ リ テ ー シ ョ ン 計 画	<b>真の上高地を伝えるIP計画とAll National Park Staff</b>						
	<b>①IP（インタープリテーション）計画の構築</b>						
	◎上高地の多様な資源を体験できるストーリーの構築	上高地全体	環境省 自然公園財団 民間事業者	短期 ～5年	◎	景観、歴史、地質、植生等の多様な資源を整理し、それらの資源を体験できるストーリーを明確化したインタープリテーション計画を策定する。	2-4.
	◎インタープリテーション計画に沿ったサービスの質の高い人材育成	—	環境省 自然公園財団 民間事業者	中期 6～10年	○	インタープリテーション計画に対応し、上高地の魅力的で多様な資源を公園利用者に伝えることができる人材を官民連携のもと、育成していく。	2-5.
	<b>②All National Park Staffに向けた情報共有</b>						
	◎組織の壁を超える人材育成、地域間の情報共有、コミュニティの整備	—	環境省 自然公園財団 民間事業者 ガイド	短期 ～5年	◎	「〇〇ホテルのStaff」という肩書きのみでなく、「上高地のStaff」という意識を持てるような人材育成をしていく。また、現在、行われている上高地連絡協議会、上高地を美しくする会、北アルプストレイルプログラムのような多様な主体が参加することができる場やコミュニティを構築するとともに、上高地内の情報共有を充実させる。	2-6.
	<b>ナショナルパークとしての設え</b>						
	<b>①「上高地」を感じることができる結界感を生む設え</b>						
	◎モニュメント・標識・素材等の全体的な統一感の創出	上高地全体、釜トンネル、上高地バスターミナル、沢渡、平湯	環境省 民間事業者	中期 6～10年	○	「上高地」や「中部山岳国立公園」を感じることができるよう、エリア全体において、モニュメントや看板・標識の統一化を目指す。	2-1.
	<b>②エントランス空間の再編</b>						
◎バスターミナル⇄河童橋にかけてのトータルデザイン	上高地バスターミナル、河童橋周辺	環境省	中期 6～10年	○	公園利用者の多くが上高地に来園して初めて通行するエリアである上高地バスターミナル-河童橋のエリアについては、ユニバーサルデザインを踏まえた公園利用者の期待が高まるような質の高いトータルデザインを目指す。	2-2.	
<b>③国立公園（上高地）のレギュレーション等を伝える設え（利用者の心構え）</b>							
◎適正な公園利用を推進するため、利用者への情報発信、普及啓発を実施	上高地バスターミナル、沢渡、平湯、HP等、バス・タクシー車内	環境省 交通事業者 上高地観光旅館組合	継続	—	上高地バスターミナルをはじめとする各交通拠点やホームページ、バス・タクシー者内において、現在、行われている「上高地5つのルール+2」や登山ゲートでの注意喚起等のレギュレーションを伝える取組を強化していく。	2-3.	
<b>自然体験プログラム</b>							
<b>①VC展示内容の再構築</b>							
◎サステナブルな展示構成	VC	環境省	短期 ～5年	◎	上高地ビジターセンターの展示内容について、時代や環境の変化に対応することができるフレキシブルな展示空間を目指す。その際、VRやAR等の新技術の活用による上高地の自然・風景体験等の魅力的で集客性のある展示内容についても検討の余地あり。	2-7.	
◎フレキシブルかつ魅力的で集客性のある展示							
<b>②多種多様で自然と利用者をつなぐプログラム</b>							
◎利用者に上高地での取組を体験してもらうプロジェクト	—	環境省 自然公園財団	短期 ～5年	◎	公園利用者に上高地において実際に行われている自然保護や調査の活動を体験することができるプログラムのあり方について、インタープリテーション計画の検討においても合わせて検討する。インタープリテーション計画に位置付けられた内容について実現を目指す。	2-8.	
◎上高地での生活や就業体験をするプログラム							
<b>上高地リピーターの創出</b>							
<b>①宿泊施設への配送サービス</b>							
◎宿泊利用者が手ぶらで観光できるサービスの提供	上高地全体	環境省 上高地観光旅館組合	短期 ～5年	◎	公園利用者の手ぶらで気軽な観光の実現のために、沢渡・平湯エリア、上高地バスターミナル、宿泊施設における、観光客の荷物の配送サービスの構築と実現を目指す。	2-9.	
◎関係事業者の連携（交通事業者、宿泊事業者）							
<b>②上高地リピーター認定事業</b>							
◎上高地に訪れた人を認定して、地域全体で迎え入れるリピーターウェルカムな観光地へ	—	環境省 松本市 上高地観光旅館組合 ホテル事業者	中期 6～10年	○	上高地に複数回訪れた観光客を認定し、複数回来園されたロイヤリティの高い観光客に対しては、上質なサービスやおもてなしをする仕組みを構築・実現することで、「上高地ファン」となる観光客、公園利用者の増加を目指す。	2-10.	
◎ロイヤリティの高い「上高地ファン」の醸成							

上高地マル集未来構想における提案内容		実施検討箇所（案）	主体（想定）	事業期間	優先度	具体的な内容	通し番号
景観 空間 保全 利用 計画	<b>利用の分散と誘導</b>						
	<b>①インタープリテーション計画に沿った魅力的な滞留空間の創出</b>						
	◎IC・VCを拠点とした利用モデルコースの造成	上高地全体	環境省	短期 ～5年	◎	インタープリテーション計画に対応した魅力的な滞留空間とIC・VCを拠点とした利用モデルコースの造成を目指す。	1-1.
	<b>②既存施設、資源の利活用</b>						
	◎民間活力導入による施設の利活用	ウェストン園地、VC周辺	環境省 民間事業者	短期 ～5年	◎	ウェストン園地、上高地ビジターセンター周辺において、カフェ、グランピング施設、上高地の歴史や自然や文学に関連する書籍を扱うLibrary等の魅力的な機能を念頭にした民間活力導入について検討する。	1-2.
	◎周辺環境との一体的な整備	ウェストン園地、VC周辺	環境省 民間事業者	短期 ～5年	◎	民間活力導入を検討しているウェストン園地や上高地ビジターセンターにおいて、建築空間や展示内容と周辺環境の一体的な整備を目指す。	1-3.
	◎雨天時に利用しやすい施設整備	バスターミナル・IC・VC	環境省	中期 6～10年	○	上高地バスターミナル、上高地インフォメーションセンター、上高地ビジターセンター周辺において、雨天時における待合場所や昼食や休憩としての利用ができるような空間の整備を目指す。	1-4.
	<b>③上高地ゾーニング・利用動線を周知するためのサイン計画やユニバーサルデザインの徹底</b>						
	◎ゾーニングエリアをカラー等で示す案内標識	上高地全体	環境省	短期 ～5年	◎	上高地地区全体において、ゾーニングエリアや各施設や空間にアクセスしやすいような案内標識の整備を目指す。ゾーンごとに色を設定し、当該ゾーンでは決まった色を集中的に使用することで、視覚的にゾーニングを伝えるなど、分かりやすいゾーニングとする。また、ピクトグラムや多言語対応、様々な障害を持った利用者が利用しやすくなるユニバーサルデザインを進める。	1-5.
	◎ピクトグラム活用や障害者の利用に配慮したユニバーサルデザインの徹底						
	<b>④登山利用者が利用しやすい山岳ベースの創出</b>						
	◎山岳用品の販売店、レンタル店等の誘致	河童橋周辺、小梨平野宮場、 上高地インフォメーション	環境省 松本市 民間事業者	短期 ～5年	◎	登山客やトレッキング・ハイキング用品を揃えることができる山岳用品の販売店やレンタル店をメインとした山岳ベースの誘致を目指す。	1-6.
	<b>景観特性を生かした環境の整備</b>						
	<b>①魅力的な資源を堪能できる「場」の整備</b>						
	◎景観を楽しむ空間の整備	梓川沿いの園路、河童橋周辺	環境省 民間事業者	継続	—	歩行動線と滞留空間のすみ分けや滞留しやすいベンチの配置やデザインに配慮し、穂高連邦をはじめとする山岳景観や河童橋等の重要な資源への眺望や景観を堪能することができる場の創出を目指す。	1-7.
	◎視点場、修景伐採等の景観デザイン	上高地全体、ウェストン園地	環境省	短期 ～5年	◎	視対象、視線、視点場等の景観構造・デザインに留意し、視点場となる空間や樹木の修景伐採等を実施する。	1-8.
<b>景観と調和した防災</b>							
<b>①河床上昇対策の継続と追加対策の検討</b>							
◎建替え時のかさ上げ	各施設、施設集中地区	環境省 松本市 民間事業者	継続	—	梓川の河床上昇に合わせ、建替え時に老朽化が進行した施設や駐車場等については先行的にかさ上げを行う。後に、対象範囲全体のかさ上げを継続的に実施する。また、かさ上げに用いる土砂は基本的に梓川の浚渫による掘削土砂を利用する。	1-9.	
◎土砂流下促進・掘削（浚渫）	梓川	長野県	継続	—	上高地の谷戸地形に起因する梓川の河床に堆積する土砂について、定期的に掘削（浚渫）することで、河床上昇の進行を防ぐ。	1-10.	
◎施設整備（護岸整備）	梓川	環境省 長野県	継続	—	梓川の護岸整備については、多自然型川づくりに配慮した蛇籠工法や布団籠工法を用いた護岸整備を継続的に実施する。	1-11.	
◎ソフト対策（避難経路の確認等）	上高地全体	松本市 上高地消防団	継続	—	梓川の越流や園路の冠水等の水害時における避難経路や災害情報の伝達方法の確認を継続的に実施する。	1-12.	
◎追加対策の検討	上高地全体	環境省 長野県など	長期 10年～	△	集水域、流量計算、越流シミュレーション等の検討を踏まえ、堤内地や堤外地の排水路、暫定的な輪中堤等の検討を行う。	1-13.	
<b>多主体との連携による施設づくり・運営</b>							
<b>①公園施設の長寿命化や安全対策</b>							
◎木道や園路での腐敗しやすい部分への人工素材の使用推進	上高地全体	環境省	短期 ～5年	◎	上高地地区における公園施設（木道、手摺、ベンチ等）の素材について、腐敗しやすい部分については耐久性が高く、自然環境に調和する人工木材の利活用を推進する。また、計画的な維持管理を主眼とした危険個所の把握や転落防止等の対策を実施する。	1-14.	
◎危険箇所の把握と転落防止等の対策							
◎計画的な維持管理							
<b>②民間事業者と連携した施設づくり</b>							
◎ベンチやデッキ等の整備における民間企業や公園利用者の寄付や投資による参画	上高地全体	環境省 民間事業者 公園利用者	中期 6～10年	○	民間企業や公園利用者の寄付や投資により、ベンチやデッキ等の公園施設の整備を行う仕組みを構築する。また、整備されたベンチやデッキには、寄付者の記銘等の仕組みも合わせて検討する。	1-15.	
◎VC・ICのリノベーションによる施設機能の強化（デザイン公募、民間デザイナーとの連携など）	IC・VC	環境省 民間事業者	中期 6～10年	○	上高地インフォメーションセンターやビジターセンターのリノベーションに際して、デザイン公募や民間デザイナー等との連携を検討する。また、展示内容については、アーティストインレジデンス等の企画展示を行い、公園利用者にとって魅力的な展示内容を目指す。（インタープリテーション計画との整合性に留意）	1-16.	

上高地マル集未来構想における提案内容		実施検討箇所（案）	主体（想定）	事業期間	優先度	具体的な内容	通し番号
社 会 S D G S 計 画	ユニバーサルデザイン対応の環境づくり						
	①バリアフリールートの設定と整備						
	◎バリアフリールートの設定と利用者への周知（情報の見える化）	上高地全体	環境省	短期 ～5年	◎	インタープリテーション計画やサイン計画と対応し、歩行者の主動線や自動車道を考慮したバリアフリーの設定を行う。また、設定されたバリアフリールートについては、案内標識や、公式HP等を通して、公園利用者に広く周知する。	3-1.
	◎歩行しやすい舗装整備と歩者分離	上高地バスターミナル-河童橋周辺、上高地バスターミナル-ウェストン園地	環境省	継続	—	園路幅が狭く、歩行者と自動車の動線が重なる箇所については、歩者分離のため、園路拡幅等の整備を行う。また、車椅子利用や高齢者等の利用を想定した歩行しやすい舗装整備を継続的に実施する。	3-2.
	②セルフガイド機能の創出、多言語対応の徹底						
	◎利用者自身が自由に必要な情報を収集し楽しめる機会を創出 ◎分かりやすさやアクセスのしやすさを考慮した多言語対応	上高地全体	環境省	短期 ～5年	◎	デジタルサイネージ等新技術の利活用や多言語対応等を念頭におき、利用者自身が自由に主体的に上高地の情報を収集し、楽しむことができる環境を整備する。	3-3.
	③トイレや乳幼児設備の充実化						
	◎IC/VCでの授乳室等の設置 ◎マイノリティや障害者も利用しやすいトイレ整備（洋式化）	上高地全体	環境省 松本市 上高地観光旅館組合	継続	—	子連れの公園利用者やマイノリティの方々が利用しやすい公園施設（授乳室、ユニバーサルデザイン対応のトイレ）を整備する。	3-4.
	野生動物との共生						
	①持続可能な環境整備						
◎集団施設地区内のエリア設定 ◎エリアごとにメリハリをつけた環境整備（園路脇の草刈や警鐘設置）	上高地全体	環境省 自然公園財団	短期 ～5年	◎	集団施設地区内において、野生動物のコアな生息エリアにおいては、警鐘やサイン等を設置することで、公園利用者への注意喚起を行う。	3-5.	
②野生動物とのかかわり方の学びと気づきの機会							
◎上高地だからこそ可能な動物との向き合い方が学べる体験プログラムを通して利用者に「学び」と「気づき」を提供	VCなど	環境省 自然公園財団 ガイド事業者	継続	—	サルの追い払いや上高地ビジターセンターでのクマレクチャー等の体験プログラムを通して、野生動物とのかかわり方や関係性を学び、考える機会を創出する。	3-6.	
サステナブル社会の実現							
①環境配慮への取組の強化と可視化							
◎脱炭素化の取組強化や可視化、情報発信 ◎環境配慮のアメニティの利活用	—	環境省 民間事業者	継続	—	木製のアメニティの使用や梓川の水を上水として利活用等の環境配慮への取組を強化していく。	3-7.	
②上高地だから目指すべきCAR-LESS Resortの推進							
◎地域関係車両の総量規制・時間規制 ◎地域関係者の移動手段に係る体制構築（沢渡・平湯⇄上高地） ◎バスやタクシー、管理車両等の電気自動車化 ◎次世代モビリティの導入検討（実証実験の実施）	上高地全体（帝国ホテル-ウェストン園地、バスターミナル-河童橋、ウェストン園地）	環境省 民間事業者 交通事業者	中期 6～10年	○	地域関係車両の規制、電気自動車化、次世代型モビリティの導入を積極的に行い、上高地だから目指すべきCAR-LESS Resortを目指していく。	3-8.	
③生活インフラの適正化と持続化							
◎上高地浄化センター機器の更新の推進 ◎山小屋等のし尿処理方法改善の検討 ◎ゴミ集積施設・機能の集約化と適正化	上高地浄化センター 上高地バスターミナル周辺	松本市 環境省 施設管理者	中期 6～10年	○	上高地浄化センターの建替え計画や山小屋のし尿受入れ容量の確保、ゴミ集積施設・機能の集約化と適正化を実施する。	3-9.	
④共生に向けた地域・体制づくり							
◎行政機関や地域関係者、利用者も含めた連携の強化 ◎入園料、入山料の徴収による充実した維持管理体制の構築 ◎地域受入れ環境の充実	—	環境省 松本市 利用者を含めた関係者 全て	継続	—	現在も行われている上高地を美しくする会や北アルプストレイルプログラム等の活動を官民連携のもとで継続的に実施することで、持続可能な維持管理体制や地域づくりを着実に推進し、保護と利用の好循環や自然と共生する国立公園として、国内外に誇れる上高地を維持継続していく。	3-10.	